

正誤表

この度は、「正かなづかひ 理論と実践」第2號をお求めくださり、
ありがとうございました。

左記の通り誤植がありましたので、訂正いたします。

私、押井徳馬の確認が不十分であつた事をお詫びいたします。

編輯長 押井 徳馬

14頁下段 度合い↓度合ひ

20〜44頁 動詞語尾の「〜やう」「〜しやう」↓「〜よう」「〜しよう」
いづれ↓いづれ

教え↓教へ

21頁上段 教義と一致していた↓教義と一致してみた

22頁上段 と云ふ考えも↓と云ふ考へも

下段 と考えたり↓と考へたり

23頁下段 閉じ込められて↓閉ぢ込められて

24頁下段 「仏教」扱ひ↓「仏教」扱ひ

25頁上段 などに関わり↓などに関はり

27頁上段 すぐに失われがち↓すぐに失はれがち

下段 言い換へれば↓言ひ換へれば

29頁上段 なお、出家者は↓なほ、出家者は

33頁上段 文字どおり↓文字どほり

下段 狂信者扱ひ↓狂信者扱ひ

35頁上段 進めており、↓進めてをり、

36頁下段 みたためであらう↓みたためであらう

世界支配を狙つており、↓世界支配を狙つてをり、

37頁上段 関わつた↓関はつた

41頁上段 変わつた↓変はつた

下段 少しずつ↓少しづつ

43頁上段 狙い↓狙ひ

44頁下段 さう云う部分↓さう云ふ部分

お伝えしたい↓お伝へしたい

47頁上段 宜しからう↓宜しからう

わずか↓わづか

下段 行ふという↓行ふといふ

56頁上段 思い浮かぶ↓思ひ浮かぶ

下段 もので。それだけ↓もので、それだけ

59頁下段 ページを綴じた↓ページを綴ぢた

98頁周辺 敷居が高い↓ハードルが高い

125頁上段 検討したように↓検討したやうに

検討を加えた↓検討を加へた

向けられており↓向けられてをり

基礎を据えたが↓基礎を据ゑたが

自由を与える一方↓自由を与へる一方

変化に伴う社会↓変化に伴ふ社会

差に現れており↓差に現れてをり

宿命と考へた↓宿命と考へた

社会規範を担う未来↓社会規範を担ふ未来

135 頁上段

その中心に据えたのが、↓その中心に据えたのが、
経験科学に置き換え↓経験科学に置き換えへ

必然的に従うと↓必然的に従ふと

171 頁上段

として前置と前置が↓として前置が

下段

作藤越佑↓作藤越祐

184 頁下段

叮嚀に梱麴↓叮嚀に梱包

186 頁上段

ニシダは適当な↓ニシダは適当な

188 頁上段

最適である↓最適である

189 頁上段

店主の註意を↓店主の註意を

今この部屋にいるのは↓今この部屋にゐるのは

下段

整然としてゐることから↓整然としてゐることから

197 頁下段

呆氣に囚はれ↓呆氣にとられ

202 頁上段

撤回が公式に↓撤回が公式に